研修だより

糸島市立一貴山小学校
平成２８年１１月７日（月）
学力アップ部

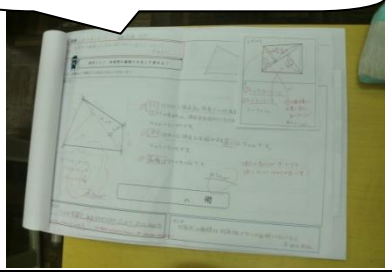
吉村先生ありがとうございました！！

【単元名】面積
～　面積忍者を追え！　～

【本時の目標】
〇既習の面積公式を基にして、平行四辺形の面積の求め方を進んで見出そうとする。**【関心・意欲・態度】**
〇三角形や長方形の面積の求め方を基にして、平行四辺形の面積の求め方を考えることができる。**【数学的な考え方】**
〇平行四辺形を三角形に分割したり、長方形に等積変形したりして、自分の知っている公式にあてはめて求積することができる。**【技能】**
〇三角形や長方形の公式を用いて平行四辺形の面積を求める方法を知り、理解する。**【知識・理解】**

【本時の展開】

毎時間、評価してあります。



1、　学習課題をつかむ。
（１）既習のふりかえりを行う。（既習図と前時までのノートから）
（２）本時の学習のめあてをつかむ。

めあて
平行四辺形を知っている形にかえたり、公式を使ったりして、面積の求め方を考え、話し合おう。

2、見通しをもとに、自分の考えをまとめる。
（１）平行四辺形を自分の知っている形にかえて、求積するための見通しをもつ。
〇三角形分割の考え方、長方形にかえって求積する考え方の見通しをもつ。
（２）既習図形や公式を使って、言葉、数式、図を用いて自分の考えを表現する。
〇切る、貼る、分ける、ずらす、くっつける作業を通して、自力解決しようとする。（自力解決→ミニ交流）
〇全体交流で自分の考えた術を披露するとともに、友だちの考えと自分の考えを比べ、新たな気づきを得ることで、自分の考えを深める（全体交流）

交流に「同じ考え方の人を見つける」という条件がありました。

3、本時のふりかえりを行い、まとめにつなげる。

まとめ
平行四辺形の面積は、三角形に分けたり、長方形に形を変えたりすると、求めることができる。

自分の考えたことをたくさん発表できました。

【吉村先生の自評】

本時の目標について
・目標①　　８０％程度達成
　　子ども達が自力解決をしていた。
・目標②③ ④　６０％程度達成
　　知っている形にもどして、求積していたが、少し教師主導であった。

一人ひとりをきちんと、見取ってありました。

【協議会で話し合ったこと】

質問
分割の授業であったが、Ｃ児にはどのような支援をしたか。
→答えを４０㎠になることを伝え、操作をさせながら答えを自力解決させた。
練習問題の意図は。
→小数でも同じようにできることを確認させたかった。
公式まで行かなかった理由は。
→本時は既習を生かして「知っている形に戻す」ということが主眼であったから。
一人ひとりが書いた説明をどのように評価したか。
→友達が答えたものを同じところ・違うところに着目させた。
さくらさんの考え方がでてこなかったがどのように扱っていくか。
→「ずらすと長方形になる」という考え方が出たので、本時はふれなかった。

意見
☆式と関連付ける発問が必要である。　EX　この数字は何を表していますか。
☆本時は考え方の学習だから、どれが速い方法かは次時でよかったと思う。
☆出てきた解き方を仲間分けする時間が必要であった。
☆本時は発展問題より確認問題のほうがよかったのではないか。
☆説明はモデルを書いた方がよい。

【福田先生の助言】

吉村先生のよさ
〇子どもが意欲的に取り組めるようなゴールが設定されてある。
〇既習図が丁寧につくってある。
〇授業のテンポがよい。
〇タイトルをつけることが思考を促している（〇〇の術など）

資料から
交流のさせ方について

〇再現させる	～さんの説明をもう一度いってごらん。
〇予想させる	～さんが続きに何が言いたいか説明できる？
〇要約	～さんはつまり何がいいたいのかな。
〇図・式から予想させる	～（式や図を見せながら）どう考えたかな。

算数を中心にどの教科でも取り入れることができそうです。毎日の授業で取り入れることでｌスタイルの授業になります。

吉村先生お疲れ様でした☆
　指導案を見て「面積忍者を追え」という単元名から「面白そうだ」と思いました。協議会で話し合ったことはもちろんですが、私が一番に思ったことは研究が日常化しているということです。昨年までの主題研の主題は単元を貫く言語活動、副主題が伝え合う活動でした。その視点を算数の授業でも実践されていました。単元のゴールが「面積忍者がかくれやすい形を見つけるために、三角形や四角形の面積の求め方を考えよう」本時の交流の場面では「同じ考えの友達を見つける」という視点を与えられていました。昨年度までの積み上げてきた国語の実践を他教科でも生かされるところを学ばせてもらいました。ありがとうございました。